

会 議 報 告 書

主催者名	匹見総合支所住民福祉課
会 議 名	平成 27 年度 第 3 回 匹見地域協議会
開催日時	平成 27 年 10 月 30 日（金） 14 時～
開催場所	益田市匹見総合支所 大会議室
出 席 者	・ 匹見地域協議会委員（7 名） ・ 市長 ・ 匹見総合支所：長谷川支所長 住民福祉課：靱田課長、事務局 地域づくり推進課：村上課長 建設課：露口課長

【会長あいさつ】

【市長あいさつ】

【協議事項】

(1) 国道 488 号車両通行止区間の整備方針について <資料 1 建設課長より説明>

- 国道 488 号通行止区間の現状について説明
- 国道 488 号を開放するにあたっての島根県の方針の説明
- 今後自治会、住民の意見を取りまとめ、益田市としての最終的な考え方を島根県に回答する。

《質疑・意見》

- 三坂八郎線を 488 号線に振り替えた場合、現道の 488 号線はどういう利用の仕方になるのか？
 - ▷ 現在の 488 号線の考え方については当然観光道路としての扱いもある。毎年期成同盟会ではレストパークまでの改良について要望している。それから上の区間についても県へ意見を伝えたい。
- 路線変更した場合、現在の 488 号線は市道になるのか？そうすると、市が改良工事をおこなうことになるのか？
 - ▷ 市道になるという話はまだ聞いていない。一般論としては払い下げとなったときは 10 年くらいは市が手出ししなくても維持管理出来るような状態にして頂く。現状を聞くとその状態にすることは難しく、払い下げまで話がいくことはハードルが高いと考える。
- 長年通行止めをしており道路改良がなかなか進まない状況ではルート変更もやむを得ない。地元の住民等の意見を聞き、慎重に検討していくべき。

【市長との意見交換会】

○益田市人口ビジョンと総合戦略について市長より説明を受け、意見交換をおこなう。

《質疑・意見》

- UI ターンを呼び込み定住につなげるために、市営住宅の家賃を安くしてはどうか？
 - ▷ 市営住宅の家賃は国が決めているので、市が補填するなりしないと匹見の家賃を下げる事は難しいと思う。UI ターン者応援事業では匹見地域の中山間地域加算の加算率が高く、UI ターンの行き先として中山間地域になるべく振り分けられるようにしているところ。
- 地場産業として匹見の山を活かすことを考えてはどうか？切るだけでなく造林も含めながら、就職先として増やしていけば若い人が来られるのでは？
 - ▷ 現状は伐期にある木が増えていて、それを切って利用する目途を立てる事が急ぐ課題と捉えている。匹見地域の産業振興や人口定着のため、山林資源の活用というのは欠かせない事だと考えている。
- UI ターンに関わる行政の丁寧な対応が、定住に繋がっていく一番基本の部分だと思う。子育てや就農など定住できるような環境をどう整えるのかということや、地域と行政、団体との連携体制がうまくいくような指導を考えて頂きたい。
 - ▷ 更にきめ細やかな対応が出来るように徹底していきたい。
- 精力的に企業の訪問をされているが、手ごたえは？仕事は定住の一つの条件でもあるので頑張ってほしい。
 - ▷ 愛知県刈谷市の企業が外国の方に進出していたけれども、日本のどこかに工場を構えたいという情報を得たので、是非益田市にという話をした。最終の詰めに入ったわけではない。

【報告事項】

(1) 匹見下地区多目的集会施設整備事業の進捗状況について<資料2 地域づくり推進課長より説明>

- 業者が決定し、契約締結した。
- 3月末竣工予定。地域自治組織の設立の関係で、竣工式等のスケジュールを組み立てていく考え。

《質疑・意見》

- 工事契約したそうだが、地元住民にも公民館にも説明がない。トラブルが起こらないためにも工事についての説明等行政として配慮をするべき。

(2) 地域自治組織の取り組みについて<資料3 地域づくり推進課長より説明>

- 匹見3地区の取り組み状況について説明

《質疑・意見》

- 行政の立場から感触として目標年度までに設立出来そうか？
 - ▷ 匹見下地区についてはH28.4に、道川地区についても1年早めてH28.4に設立予定で動いている。

(3) 匹見健康センターバイオマスボイラー導入事業の進捗状況について

<資料4 地域づくり推進課長より説明>

- 建築工事、機械設備工事があり3月末の完成見込み。

《質疑・意見》

- 薪はどこに積んでおくのか？
 - ▷ 落合にある木の駅に保管し、温泉へは週2回程度必要量を搬入し6コあるラックに保管する。

●薪ボイラーを焚くことで煙が出るかどうか地域住民に対し説明したのか？せめて自治会長には説明をして、住民にも知らせて頂きたい。

▷ 承知した。煙は着火するときに若干出るが、燃えている最中には一切出ない。

(4) 自伐型林業による地域づくり戦略について<資料5 林業水産課より説明>

○豊富に存在する森林資源を活用した林業再生、地域活性化に繋げる取り組みとして3つの戦略を企画し実行している。(3つの戦略：①新しい森林経営者の育成、②副業としての林業の構築、③新しい住民交流拠点の創造)

○地域おこし協力隊が3人活動している。3年間は市の嘱託職員としてプロの林業家をめざす。

○木材の出荷先として「木の駅」を整備し7月1日から稼働している。市の林業振興のための新たな拠点施設としていきたいと考えている。

○「木の駅」に搬出された間伐材を薪に加工して、今年度匹見峡温泉へ導入される薪ボイラーの燃料として供給していきたいと考えている。

○今後の展開としてH27年度からH30年度までの数値目標を設定し、達成できるように取り組む。

(5) 匹見地域活性化基金について<資料6 住民福祉課長より説明>

○H26年度基金の取り崩し額は949万円。内訳は田舎体験事業、福祉生活支援事業、わさび生産振興事業、産業文化祭補助、観光振興事業、豪雪センターマイクロバス整備事業。

○H26年度末までに使った基金の額は1億9744万3千円。

○H27年からH30年までの計画が3689万2千円。

○H26年度末の計とH27～H30までの基金の執行予定額の総額は2億3433万5千円。

○H26年度末現在の基金残額は7346万696円。H26年度の取り崩し額948万9792円。残額が6355万6904円。今後計画にあげている額が3689万2千円。

○今計画にあげている以外に充てられる額が2660万円ばかりある。

《質疑・意見》

●予定通りにいけば平成30年に約2660万円が残るということ？30年までに有効に使っていき基本的にはゼロにしてしまう方向で執行部で案を作っては？

▷ 有効活用できるような計画を執行部で検討し、意見を聞く場を設けたい。